

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正しく書く力に差があり、文章の中で使うことができない児童が多い。</li> <li>助詞、促音、拗音、句読点など正しく使えない児童がいる。</li> <li>語彙が少ない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習や宿題など、繰り返し学習で基礎基本としての漢字の定着を図る。また、日記や作文など書く機会を増やし、書きなれていくようにする。</li> <li>本を読み、調べて分かったことを新聞にまとめることができるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体験などを全体で話すことが好きな児童が多い。しかし、最後まで話を聞き、内容を落とさずに聞く力は不足している。</li> <li>感染症予防のため、グループなどの少人数での発表が十分にできないことが多い。全体で発表を行う。</li> <li>小グループで行う音読発表会では、登場人物の気持ちになりきり音読できる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手を見ること、分かった時には頷く、ハンドサインを活用するなどの習慣を身に付けさせる。</li> <li>グループでの発表は、互いの距離をとり、広い部屋で行ったり、全体の発表では、テレビに映すなどの工夫をする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせを集中して聞き、話の世界に入り込んでいる児童が多い。</li> <li>読書を進んで行う児童が多く、図書の時間を楽しみにしている。</li> <li>物語文では、登場人物の気持ちに入り込み、楽しんで学習に取り組める児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書の時間や朝学習の時間を活用し、読書の質と量を増やせる機会を設ける。</li> <li>感染症予防のため、図書の時間の読み聞かせは教室の自分の机で聞くようにする。</li> <li>自分の言葉で楽しみながら、発表したり書いたりする学習活動を継続して取り入れる。</li> </ul>
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいことを学習しようとする意欲は高く、興味関心をもって算数の学習に取り組むことができる児童が多い。</li> <li>学習の定着に時間がかかる児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や日々の宿題でプリントやドリルを使い、繰り返し習熟させる時間を確保する。</li> <li>通年を通して振り返りをしながら既習事項を思い出して自力解決できるようにする。</li> <li>スクールサポーターやITを活用し、複数体制で指導を行う。</li> <li>具体物等を操作しながら学習の理解を深められるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを順序立てて説明できる児童もいるが、考えを整理して伝えることができる児童は少ない。</li> <li>既習事項を生かして問題を解くために、図や式を使うことが少ずつづけるようになった。</li> <li>ノートに自分の考えをまとめることができるようになってきたが、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の時間の中で、自力解決の時間を確保することで、自分で考えたことをまとめる習慣を身に付けられるようにする。</li> <li>ノートの書き方、まとめ方を指導する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで自分の考えを発表しようとする意欲的な児童が多い。</li> <li>向上心をもって学習に取り組んでいる反面、分からないとそこから進めなく止まってしまう児童もいる。</li> <li>集中力が続かない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな答えや考えでも受け入れ、安心して発言したり発表したりできる場の雰囲気を作る。</li> <li>算数の学習に対する達成感が感じられるよう、スモールステップの学習過程を組む。</li> <li>45分間の授業の組み立てを工夫し、児童が飽きないような展開を作る。</li> </ul>
生活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や社会との関わりには、興味関心が高く、よさや素晴らしさに気付くことができる。</li> <li>集団や社会の一員としての適切な知識や行動には、個人差がある。</li> <li>気づいたことを、観察カードに絵や文章で分かりやすくまとめることができる児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物や生き物観察を季節ごとに設定することで、変化の様子をより実感させ、愛着をもって自然を大切にできる行動を身に付けさせる。</li> <li>写真絵本や図鑑から得た知識を共有できるよう、年間を通し、学校司書や市の図書館と連携し、学習環境を整える。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学年とのおもちゃランドや季節の遊びなどでは、自分なりに工夫したり、より楽しくなったりするように活動できる。</li> <li>調べたり体験したりすることは好きだが、自分との関わりへの気付きや、活動のよさへの気付きが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防に留意し、「町たんけん」ではグループごとに役割を決め、相談したり決定したりする経験を積ませる。その中で自分自身とのつながりや良さに目を向けさせる。</li> <li>調べてきたことを発表することで、相手意識をもって発信する力を育てる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の成長や身近な人の支えに気付き、意欲をもって振り返る活動を楽しむことができる。</li> <li>体験したことや楽しかったことから自分自身を見つめ、自分のよさの気付きまでには至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分ものがたり」では、自分の成長過程や生活を振り返りながら、自分自身を見つめ、自分の可能性や良さに気付き、自信をもって今後の生活を築ける土台作りの基礎を固める。</li> </ul>
音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての曲にもリズムや曲想を感じながら歌を楽しむ児童が多い。</li> <li>リズムを歌唱や手拍子で楽しむことのできる児童が多いが、正しいリズムを打つことが難しい児童もいる。</li> <li>鍵盤ハーモニカは感染症予防のため指使いのみ練習している期間が長かったため、習得には個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音符、休符、記号や用語について理解させ、音楽における基礎的な技能を身に付けさせる。</li> <li>鍵盤ハーモニカの指使いを繰り返し練習し、階名で歌ったり指番号で歌ったりした後に演奏し、楽器の基本的な演奏方法を身に付けさせる。</li> <li>マスクをつけながら歌唱の指導を行う。</li> <li>手拍子等でリズムを感じ取れるよう活動を行う。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想を感じ取って、進んで体や言葉で表現しようとする児童が多いが、表現力の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏の仕方や音の強弱などによる感じ方の違いや、歌詞から感じられる様子など話し合ったことをワークシートにまとめ、工夫して表現できるようにする。</li> <li>全身を使った身体表現の機会を設ける。</li> </ul>

	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく音楽活動をする児童が多く、身の回りの音楽に進んで親しもうとする意欲が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音遊びや即興的な表現など、自ら創造する活動を取り入れ、楽しく学習できるようにする。</li> <li>・身近な楽器を取り入れ、楽しんで音楽活動ができるようにする。</li> </ul>
図画 工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみ、のり、パス、絵の具などの基本的な扱いは分かっている。</li> <li>・完成までの制作過程を理解し、取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テープや筆、カッターナイフ、ステープラー等造形活動に必要な道具の使い方を紹介し、自分の思いに合った表現方法や材料、道具を選べるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや材料などを基に、表したいことを思いついたり作り方を考えたりする力が育ってきた。</li> <li>・中には、自分のイメージを形に表すことに苦手意識をもつ児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材とよく関わり、試行錯誤しながら手を動かすことでイメージを膨らませ、制作する時間を多くとる。</li> <li>・形や色、表し方の面白さなどに気付かせるために、自分たちの作品を楽しく見合う場や機会を設定し、感じたことを言葉で交流し合わせる。(いいねカードの活用)</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形あそびや制作を楽しむ児童が多い。</li> <li>・一つの作品にじっくり取り組む力には、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が意欲をもつ題材を扱い、試行錯誤を楽しんだりイメージが膨らんだりするような言葉掛けをする。</li> <li>・制作の途中も含め、互いの作品のよさを感じ取り、交流し合う機会を設ける。</li> <li>・丁寧に作品を仕上げる楽しさを味わわせる。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の運動遊びでは、イメージがもてず、自分の体を上手に操作することができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始めに補助運動として様々な動きを経験させる。</li> <li>・視聴覚教材を活用し、児童に動きのイメージをもたせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのコツを考えたり、表現したりすることができる。</li> <li>・教師から提示された遊び方を工夫しようとする姿勢が見られる。</li> <li>・自分の課題に合った場を、適切に選ぶことが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのコツや遊び方の工夫について児童が教え合う場をつくる。</li> <li>・声かけ集などをつくり、児童が互いの動きのよさを見つけ合うようにさせる。</li> <li>・児童の実態に合わせた場を用意し、意図をもって選べるよう指導する。</li> <li>・学習カードには、自分や友達の活動について工夫したり振り返ったりする欄を設け、互いの経験や気付きを交流させる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を進んで楽しもうとする児童が多い。</li> <li>・友達と関わり合うことの楽しさを味わっている。</li> <li>・遊びのルールや安全のきまりを守って運動を行える児童が多い。</li> <li>・準備や片付けを協力して行える児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味を高める活動の場を工夫する。</li> <li>・授業のまとめで、準備や片付け、友達との協力などについて振り返らせる。</li> <li>・安全指導を継続して行う。</li> <li>・感染症予防でのソーシャルディスタンスを守る運動あそびから取り組む。</li> </ul>